

第 7 回富士見市総合計画等審議会

議事録

日 時	令和 7 年 6 月 2 6 日（木）		開会 午後 7 時 0 0 分 閉会 午後 8 時 5 0 分			
場 所	富士見市役所 1 階 全員協議会室					
出 席 者	委 員	鏡会長	志摩副会長	赤羽委員	朝賀委員	市川委員
		○	○	－	○	○
		小野寺委員	小池委員	大堀委員	関口委員	関谷委員
		－	○	－	○	○
		出谷委員	堀端委員	山本委員	吉原委員	
		－	○	○	○	
	事務局	政策財務部 磯谷部長 政策企画課 平課長、常盤副課長、齋藤主査、新井主査				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者 0 名）					
議 題	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 第 2 期基本計画等の計画案について③ 4 閉 会					

議 事 内 容（要 旨）

1 開 会 平政策企画課長

2 会長あいさつ 鏡会長

3 議 事 鏡会長 進行

第2期基本計画等の計画案について③

事務局：（第2期基本計画等に係る計画案の審議方法について説明）

＜グループ審議＞

2グループに分かれ、それぞれ計画案に対しグループ審議を実施

A班：鏡会長、赤羽委員、朝賀委員、関口委員、関谷委員、堀端委員

B班：志摩副会長、大堀委員、出谷委員、山本委員、吉原委員

＜審議した骨子案＞

A班

分野15－基本政策21「誰もが安心した生活を送ることができる」

分野28－基本政策37「富士見市のファンが増え、賑わいが生まれる」

分野29－基本政策38「災害に強いまちとすることができる」

分野29－基本政策39「様々な危機事案の予防と被害抑制により安全安心なまちで暮らすことができる」

分野30－基本政策40「市民の役に立つ所になる」

B班

分野25－基本政策32「良好な住環境のもとで生活ができる」

分野26－基本政策33「楽しく、便利に市内で買物ができる」

分野26－基本政策34「地域経済が潤ったまちで生活できる」

分野27－基本政策35「安心して農業が行える」

分野28－基本政策36「多様な働き方の実現」

合同

総合戦略－基本目標A「人」に あたたかい 富士見市

総合戦略－基本目標B「暮らし」に やさしい 富士見市

総合戦略－基本目標C「仕事」をつくる 富士見市

＜グループ審議概要＞

分野１５－基本政策２１「誰もが安心した生活を送ることができる」

《計画案に対する意見》

- ・ 鶴瀬駅の出張所が閉鎖され、不便であるという意見もあるが、マイナンバーカードがあればコンビニで各種書類が取れるため、周知が不足しているのでは。
- ・ ２１－２、行政としては、相談に来てくれなければ始まらないため、周知となるかもしれないが、市民目線からは、相談体制だけでなく、問題を解決するまでが必要であるため、解決した数が指標になるのでは。

分野２８－基本政策３７「富士見市のファンが増え、賑わいが生まれる」

《計画案に対する意見》

- ・ 基本政策の内容を踏まえると、数値目標は、人口増減数ではなく、社会増減数の方がふさわしいと思う。
- ・ 人口が増えるためには、マンションなどの住宅が必要。朝霞市は、富士見市よりも人口の増加幅が大きい、マンションなどが整備されている印象がある。
- ・ 市の発展を考えたときに、本社が市内になくても、支店を富士見市に出したくなるような魅力や進出しやすさの視点が必要では。
- ・ 人口を増やそうとしたときに、高額所得者層などの“市に移住してきてほしい対象”を呼び込む施策が必要。例として流山市の事例や、アトムふじみ野ができた後の市の学力の向上など。
- ・ まちづくりやタワーマンションなど、ハード面でも市のファンができるような仕組みが必要。
- ・ 住宅と商業地が近い地域の方が人口増加につながりやすい。
- ・ 東上線沿線で、都心まで３０分という立地は、改めて魅力だと思う。
- ・ 関沢地区に新しいマンションが建設されたが、車のナンバーが練馬だったり川崎だったりして、おしゃれな印象がある。そんな人たちが、ららぽーとに行ったりしているので、街が盛り上がる。そういった方たちは、富士見市を選んだことで生活に余裕が生まれている。東京に住んでいたら、車などにお金がかからない。

分野２９－基本政策３８「災害に強いまちと感ずることができる」

《計画案に対する意見》

- ・ ３８－３の主な取組は中央防災センターを記載することで、市民に安心を届けられると思う。また、市民も関心を持っている。
- ・ 防災機能の強化の視点で、今まで脆弱であったものが強化されるということならば、新庁舎整備も含めて記載すべき。

- ・富士見江川の水質は、鮎が住めるくらいのものであるらしいので、防災においても活用できるのでは。
- ・市としてはハザードマップをしっかりと整理し、情報共有ができる仕組みをしっかりと構築していく必要がある。
- ・具体的な取組に、避難所に関する細かな記述が見えてこない。避難所における女性への配慮やペット、福祉避難所など、個別への対応や特性に応じた細かな対応が求められているのでは。
- ・富士見市防災リーダー養成講座に参加し、避難所運営ゲームを行ったが、最終的に答えがないため、答えを示すべきであると思う。

分野２９－基本政策３９「様々な危機事案の予防と被害抑制により安全安心なまちで暮らすことができる」

《質疑応答》

委 員：あらゆる危機事案とあり、ミサイルや自衛隊との連携との記載があるが、マニュアルなどはあるのか。

回 答：法律に基づき、国民保護計画というものを作成する義務があるため、富士見市でもその計画を作成済みである。

分野３０－基本政策４０「市民の役に立つ所になる」

《質疑応答》

委 員：実質収支比率ではなく経常収支比率にした方がよいのではないか。

回 答：わかりやすい指標となるよう検討する。

《その他計画案に対する意見》

- ・職員一人一人が営業マンであるという研修をさせていただいている。いろいろな考え方が入ってくるとアイデアも生まれてくると思うので、民間講師による研修は継続した方が人材（財）育成につながるのでは。
- ・公務員も離職する方が多く、お察しする。

B 班

分野２５－基本政策３２「良好な住環境のもとで生活ができる」

《計画案に対する意見》

- ・住みやすい住環境は近隣との人間関係の円滑さといった面も必要と考える。その視点が入っていないように思える。
- ・閑沢は狭隘な道が多く、軽自動車がやっと通れるような道幅がある。あのような場所での火災は延焼や消火活動の遅れなどが怖い。

- ・民法が改正されて枝が切れるようになったため、市はそうのようにどんどん指導していくべき。
- ・切った後の木の枝などの問題はどうすればよいのかわからない。市の方で空き家の枝は処分するなどしてほしい。
- ・燃えないまちづくり事業は興味がある。阪神淡路大震災でも木造密集地が大きな被害に繋がったことを踏まえると、対応が必要と思うが、こういった取組ができるのか。狭隘道路の解消には土地所有者から提供をしてもらうのか、換地するのか、その辺りはなかなか難しいと思うが進めてほしい。
- ・市内に消防署はそんなに多くはないとなると消防団などの存在が重要になると思うため、補助等でのサポートが必要。
- ・金融機関では空き家を取り壊すための費用を貸し出すというサービスも出てきている。それくらい費用面が問題となって壊せない方もいると思う。その解消のために市からの補助金があれば良いと思う。
- ・関沢のゴミ屋敷がテレビで紹介されたこともある。今はきれいになっており、そのような事例を紹介することで問題の解決につながるのではと考える。対応策や進め方がわからないから進まないという原因もあると考える。

分野２６－基本政策３３「楽しく、便利に市内で買物ができる」

《質疑応答》

委 員：商店街のＰＲは市の方ではどのように行っているのか。

回 答：ホームページなどで行っているが、市の方でも足りていないとは感じている。

委 員：富士見市の創業支援の充実度合いはどの程度なのか。自分が勤務している自治体では毎年のように創業支援塾や補助金がもらえるようなプレゼン大会なども実施している。

個人を活性化させるためには出戻りで地元に出すような方をサポートしたり、地域振興券の個人店使用割合を高めたりするなど、色々な支援をしていく必要があると思う。面としての商店街の活性化も大事だが、個々の店舗をしっかりと支援する必要がある。

回 答：本市でも創業支援セミナーとして経営に必要な知識を学べるセミナーを開催しているほか、経営相談や計画書作成のサポートを行う相談事業も行っている。

《その他計画案に対する意見》

- ・市外から来る立場としては、個人経営のお店はあまり使った機会はない。この地域のことを考慮すると、車で移動する方が多いと思うため、車を運転できる間は大きな問題はないと思う。一方で車が運転できなくなる高齢の方に対しては買い物に関する支援をした方が良いと思う。高齢者はスマホが使えず、ネットでの買い物ができないという問題があると思うので、スマホ教室などでのサポートがあると良いと考える。
- ・商店街の会合に出席したが、街路灯の整備など、もっと市の補助があると良いと思う。

- ・商店街のスタンプラリーの割引を商工会だけではなく市の方でも補助を出して活性化させていくのはどうか。商店街がうまくいかないと個別の商店だけでは厳しいのでは。1店舗だけあってもなかなか足は向かないと思う。

分野２６－基本政策３４「地域経済が潤ったまちで生活できる」

《質疑応答》

- 委 員：広報で市長の企業訪問はその後の企業の売上の変化などは追っていたりはするか。
- 回 答：そこまでは行っていない。
- 委 員：あのような取組はとても良いと思う。
- 委 員：製造業は非常に厳しい状況だと思っている。大手と小規模事業者の格差は開いていて、特に小規模事業者には厳しい環境となっている。
立地が大きなポイントだと思っているが、富士見市としては製造業、工業の立地的な盛り上げ方についてはどのように考えているのか。住環境と工場などの整備はどう考えているのか。
- 回 答：大手企業の誘致で雇用を増やしていく狙いはあると思うが、バイパス沿いにできている大規模な倉庫などは、オートメーション化が進んでいてなかなか雇用は生まれていないと思う。
- 委 員：給食事業はオートメーション化がかなり進んでいて、セントラルキッチン方式が増えている。ただし、臭気などの問題もあると思うので、近隣との兼ね合いが必要だとは思う。

分野２７－基本政策３５「安心して農業が行える」

《計画案に対する意見》

- ・農業は担い手が減少しており、難しい問題と考えるが、隣町の三芳町では色々と農業に関して面白い取組をやっている印象がある。隣なので富士見市でも何か面白い農業の取組をやってみてほしい。
- ・農業を細々に行っているよりかは株式会社にして大掛かりに取り組むなどのサポートを、どこかが音頭を取ってやっていかないと進まないと思う。
- ・新規就農者にとって農業はノウハウの伝承など厳しいものなのでは。法人化させて儲かる農業に繋げていかないと新しい担い手の育成は難しいと考える。
- ・野菜の農家の話では出荷できない野菜などが多いとも聞く。形が悪いため出荷できないなど。そういった野菜作りへの支援などを行う事で利益率を上げていくことはできるのでは。
- ・代替わりしない遊休農地などは市の方で借り上げたりして、農業をやりたい若い人を集めて進めていくと良い取組となるのでは。

分野２８－基本政策３６「多様な働き方の実現」

《質疑応答》

委員：保育園問題と就労は関係性が強いと思う。働きたくても保育園が見つからないなど。

保育時間が長くなっても一般的には８時３０分から１７時までが中心となっていると思う。多様な働き方とはリンクしていないように感じる。市内の待機児童の状況はどうか。

回答：現状では県内でも悪い部類となっている。

委員：その部分の改善が就労の向上にもつながると思う。同様に、介護との両立についても就労者への支援が鍵になると思う。

《その他計画案に対する意見》

- ・今はどこも人手不足で積極的に就労支援する必要なく就職はできるのでは。本人のやる気次第な部分があると思う。
- ・病児保育がほぼできていない状況だと感じる。子どもが熱を出したり、ちょっとした具合が悪かったりすると保育園に預けられなくて、仕事の方にも影響が出てしまう。
- ・目玉事業として、市の方で病児保育の取組や、介護と仕事の両立の支援など施策としてやっていくと、他自治体でそこで困難を感じている人などが転居して人口増に繋がったり、企業の法人税の増にもつながったりするのでは。黒字とか赤字とかではなく、行政としてそういう取組は進めていくべきと考える。

合同審議

総合戦略－基本目標Ａ「人」に あたたかい 富士見市

《計画案に対する意見》

- ・結婚推進策よりもマンション建設などの住宅政策を推進した方が良いのではないかな。
- ・物理的に広い家を建築できるようにしないと、成長とともに出て行ってしまう住民も多いのではないかな。
- ・育児や介護の環境が整うなど魅力があれば自然と人口は増えるのではないかな。住宅を大きくすればよいとは一概には言えない。
- ・マンション建設で人口が増えるのは一時的なものとなるのではないかな。子育てをしたいという環境を作ってあげた方が自然と人が流れてくるのでは。
- ・まちづくりとして、１００㎡以下の宅地を認めなかったり、高額所得者が集まるような政策を行ったりした他の自治体の例もある。
- ・子どもの学力を上げることで高額所得者の誘致に繋がると思うので、学力テストの結果を目標にすることもいいのではないかな。
- ・数値目標の健康寿命の表現は、６５歳からの数値ではなく、具体的に年齢を書いた方が分かりやすい。
- ・３－③は生きがいづくりの推進という幅広い政策であると思うため、ＫＳＦとしてボランティア育成講座の参加者数では範囲が狭いのでは。自主学習の活動数等の方が良いのではないかな。

- ・ 3－①、認知症の方は自分から困っていると言えないので、認知症に関するケアを充実させた方がよいのではないかと。また、高齢者の見守りサービスとしてナースコールのような緊急通報システムを確立した方がよいのではないかと。

総合戦略－基本目標B「暮らし」に やさしい 富士見市

《質疑応答》

委員：基本施策2－②のK S Fの値が第1期計画と大幅に違うのはなぜか。

回答：第1期では、市の保有している緑地のみを計上していたが、それ以外にも市が管理しているものも含めて計上することとしたため、1期計画と数値が大きく異なっている。

委員：基本施策3の①はどういったことか。

回答：富士見市が、内閣府の方からSDGs未来都市というものに選定され、市では、価値共創プラットフォーム「フジミライテラス」といったものを作り活動を行っているほか、富士見高校に出前講座のようなものを行っていく予定である。今後についてもSDGsの取組を推し進めていく。

《その他計画案に対する意見》

- ・ 外部からの立地を踏まえると基本施策2の取組を実施したところで、市外の方が訪れることに繋がっても、選ばれる街に繋がらないと思うので、施策としての優先順位は低いのではないかと。そう考えると、便利で快適に暮らせるとか、安心安全な環境とか、支え合える地域などの方が優先順位は高いと思う。良い施設を作っても、市民のみ優遇するような料金設定にすると市外の方は、利用しなくなると思うので、優先順位は低くなるのでは。
- ・ 前回、地域振興券の交付の際に、商店街に加入していない個店では地域振興券が使用できなかった。個店を保護するためには、商店街の加入の有無は条件にしていけないと思う。
- ・ 基本施策1の取組②、新たな公共交通手段やシステムの導入検討について、東武東上線をまたぐ公共交通機関があっても良いのではないかと。
- ・ 東武東上線に関連すると、跨線橋を作るべき。救急車で運ばれている方は、踏切で待たされている間に命に危険が及ぶのでは。
- ・ 車がないとびん沼自然公園に行けない。実際にはバスは通っているが、お年寄りがそれを活用してびん沼自然公園に行くことは難しい。
- ・ 夏に直射日光を浴びながら信号待ちをしているお年寄りが辛そうにしているため、信号のそばに街路樹などで日陰を作れないかと。
- ・ 北本自然観察公園のような公園を作ってほしい。
- ・ マイベンチのような市民クラウドファンディングとかを取り入れてみては。
- ・ 富士見市のインスタグラムは、公式インスタグラム一つだけをカウントするのではなく、各所属が発信するものを含めて全体でカウントしてもよいのでは。情報発信は、多くの所属から発信した方が有利では。そのことで地域の魅力を感じてもらえることに繋がるのでは。

- ・基本政策２の③の協働事業提案事業の対象要件を拡大しては。協働事業審議会の際に、淑徳大学や文京学院大学などの学生に入ってもらうため、提案したが、市外であることから入れなかった。せっかくの資源を活かせていない。
- ・地域資源の活用という点では、地中を掘れば温泉も出ると思うので、富士見市にも温浴施設を検討してほしい。

総合戦略－基本目標Ｃ「仕事」をつくる 富士見市

《質疑応答》

委 員：基本施策３－②のシルバー人材センターとの連携強化については公募も含めてなのか。

回 答：その通りである。

委 員：基本施策３のＫＰＩは、成人年齢から１８歳としているのか。

回 答：その通りである。

《その他計画案に対する意見》

- ・鶴瀬駅東口の開発では、計画的に店舗施設などを誘致してほしい。
- ・鶴瀬駅東口の開発状況などを上手に発信することにも必要では。こういう街ができてあがっていきますよと発信することで、市民の関心も高まると思う。
- ・人と人をつなぐマッチングは大切なので、そういう人材の育成や例えば、高齢者人材バンクのような具体的な取組があった方がいいのでは。

５ 閉 会 志摩副会長